

～ 年頭のごあいさつ ～

市民の負託にこたえ より住みよい安城に

安城市議会議長
加藤勝美



市民の皆さま、新年明けましておめでとうございます。平成13年の新春を迎え、謹んで皆さまのご健勝をお慶び申し上げます。また、平素は市議会に対しまして温かいご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、消防署北分署の完成や安城市スポーツセンター建設などの大型事業を進めるとともに、21世紀を展望した「地球にやさしい環境都市」への取り組みとして環境マネジメントシステム（ISO14001）の認証を取得し、第6次安城市総合計画に基づく本市の目指す都市像「うるおいと活力にみちた創造性あふれるまち」の実現に向けて諸施策を進めてまいりました。

さて、政府は昨年秋に、経済発展基盤の構築とともに、景気の自立回復軌道の確立を目指した対策として、IT（情報技術）革命の推進や環境問題、高齢化対策、都市基盤の整備を主な柱とした「日本新生プラン」を打ち出しました。

一方、地方行政は地方分権一括法施行に伴い、地方公共団体が自主性・自立性を高め、個性豊かで活力に満ちた地域社会を実現することが期待されています。このためには、自己決定・自己責任の原則に基づき、地域内の諸課題に積極的に取り組んでいく必要があります。市議会においても、住民の代表機関として、その責務はかつてなく重く、期待も大きなものになっています。

本市は、本年4月から情報公開条例が施行されますが、住民参加の基に行財政改革を推進しつつ、新設小学校建設などの大型事業や更生病院移転建設に伴う支援、介護保険制度の円滑な実施に向けての施策など、21世紀に向けて諸施策を推進していかなければなりません。市議会といたしましても、新世紀の幕開けに心を新たに、市民の皆さまの負託にこたえるべく、きめこまやかな活動をするとともに、より豊かな住みよい街づくりを目指し、なお一層努力してまいりたいと存じます。

何とぞ、本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願いし、皆さま方には、ご健勝で良き年でありませう心からご祈念申し上げます、年頭のごあいさつといたします。

輝く21世紀を 迎えて

安城市長
杉浦正行



市民の皆さま、新年あけましておめでとうございます。平成13年、21世紀初頭の輝かしい新春を迎え、皆さまのご健勝とご多幸を心からお慶び申し上げます。

さて、我が国の経済は、日本経済に活力を戻すための施策と社会資本の整備を主な柱とした経済新生対策などにより、民需が次第に力を増し、自立的回復に移行すると見られます。しかし、高齢化を始め情報化や国際化の進展など大きな転換期を迎えており、本格的な景気回復には至らないようにも思われ、先行きに対する不透明感も払拭されず、一層厳しい財政運営が求められています。

また、昨年施行された地方分権一括法により、国の関与や規制が緩和され、機関委任事務が廃止されたことに伴い、地方公共団体が担う責務はますます増大しています。

昨年は、市民の皆さまのご協力により、地球にやさしい環境都市をめざし、環境管理システムの国際規格「ISO14001」の認証取得をすることができました。また、市民の皆さまから多くの要望が寄せられていた市内循環バス試験運行開始のほか、デンパーク内「風車の広場」や消防署北分署も完成することができました。

本年は、情報公開条例を施行し、開かれた行政を推進するとともに、安城市スポーツセンターを始め、「せん定枝りサイクルプラント」や道の駅「デンパーク安城」などの完成を予定しています。さらに、大規模校解消のための小学校新設事業を推進するとともに、桜井駅周辺などの土地区画整理事業、下水道整備事業などの都市基盤の整備拡充や更生病院の移転事業の支援など大型プロジェクトの進展、社会福祉の充実や環境保全など、引き続き主要事業の推進に努めてまいります。これらの事業の実施にあたりましては、創意と工夫、発想の転換を図り徹底した行財政の効率化や合理化を進めながら行政水準を確保しつつ、第6次安城市総合計画で定める都市像「うるおいと活力にみちた創造性あふれるまち」の実現に向け一層の努力をする所存でございます。

終わりに、市民の皆さまのご多幸とご発展を心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

迎春